

## 日本医療マネジメント学会学術総会会長賞を受賞して

### 座長推薦のチャンス

白十字会白十字病院副院長 入江克実

総会の壇上で学会会長賞をいただき誠に光栄に思っております。グラミー賞のような気の利いた受賞スピーチ(?)を考えていたのですが、時間が押して叶わずこのレターでAcknowledgeしたいと思います。

受賞にあたりまず謝辞を述べたいのは、国立病院機構嬉野医療センター看護師の皆さんです。今回の発表はDPCにおけるADL(日常生活動作)スコアを臨床指標として高齢化問題を分析したのですが、会場からの質疑で「なぜADLスコアの欠損値を少なくできたのか」と問われました。これは私が看護部に圧力をかけた訳ではなく、日頃から看護師さんと診療情報管理士さんが地道に入力したお蔭であって、それによって初めて正確な結果が出たのだと感謝しております。

また、学会発表から論文作成にあたっては学会本部の方々に大変お世話になりました。発表後に渡辺明良先生から座長推薦していただき、学会雑誌投稿は正直申しまして簡単だろうと高をくくっておりました。しかし、査読者から一流誌レベルの厳しい質問をいただき院長共々驚いたことを思い出します。お一人は専門外の先生と拝察しましたが、逆に本学会は異なる領域の専門家集団なのだと再認識させられ、用語を解りやすい表現に改めさせていただきました。査読いただいた内容はそれぞれ一理ある御指摘で、建設的意見と解釈し修正することで我ながら自信の持てる論文に仕上がったと思っております。さらに、英文抄録は本部からNativeに校閲を依頼していただき助かりました。座長推薦は良いチャンスです、皆様もどしどし投稿されてはいかがでしょうか。

平成20年4月に始まった後期高齢者医療制度は甚で物議を醸しておりますが、今回受賞した発表が高齢者問題を検討する一助になれば幸いです。高齢化は地方だけの問題でなく、都市部でも救急医療に携わる多くの施設に共通した課題だと、福岡へ異動して感じました。今後DPCデータの活用を含めて、本学会で多岐に亘る有益な臨床研究が実を結ぶことを祈念しております。



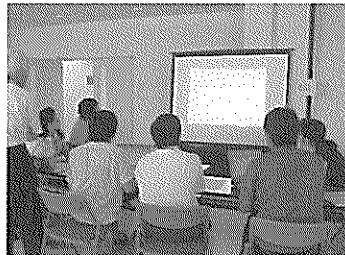
学術総会会長賞表彰式

## 開催報告

### 分科会

平成20年度第1回クリティカルパス実践セミナーin神戸  
テーマ：クリティカルパスの概念・必要性の理解と作成活用能力の向上

国立病院機構神戸医療センター内科 三輪陽一



クリティカルパス作成  
グループワーク風景

平成20年7月19・20日に、私ども国立病院機構神戸医療センターで「平成20年度第1回クリティカルパス実践セミナーin神戸」を開催させていただきました。当センターも電子カルテ導入に伴うクリティカルパスの電子化で

苦勞しているところであり、私も今年2月に国立病院機構熊本医療センターで行われたこのセミナーに参加させていただきました。この参加によりクリティカルパスに対する理解も深まり、当センターでもこのようなセミナーを開けば自分たちの施設でのクリティカルパス活用推進にも役立つのではと考え、国立病院機構熊本医療センターの野村一俊先生をお願いしたところ、快くお受けくださいました。当センターで開催することが決まってからは、講師の先生方や参加者の方々にとって、スムーズに会が進むように周到に準備を重ねていき、おかげさまで無事セミナーを終えることができほっとしております。講師の先生方のわかりやすく熱意のこもった講義もさることながら、本セミナーの良さは何と言っても実際にクリティカルパスを作成していくグループワークにあると感じます。参加者の皆さんが初対面の方々との討議で戸惑いながらも次第に打ち解けあい、意見を交わしながら一つのクリティカルパスが出来上がっていくのを見ていますと、やはりクリティカルパスは一人ではなく多職種みんなで作り上げるものということを感じさせられました。当センターの参加者からも「グループワークが楽しかった」との声を聞き、大変うれしく思った次第です。最後に、セミナーの開催に当たり野村先生はじめ講師の先生方、日本医療マネジメント学会事務局の方々に深く感謝申し上げます。また機会がございましたらぜひ協力させていただきたいと思っております。

## 開催報告

### 地方会

#### 第7回長野地方会

学術集会会長：諏訪赤十字病院病院長 小口寿夫

第7回日本医療マネジメント学会長野地方会が、「平成20年の診療報酬改定と地域医療連携の展望」をテーマに、平成20年5月17日(土)諏訪市文化センターで開催され、約400名の多職種にわたる医療関係者の皆さまにご参加頂きました。